

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	・気温の上昇でドリンク等の売上が増える上に、イベントが多い月になっていくので、来客数も増えて、良くなる。
		百貨店（店長）	・今取り組んでいる新しい事業が、徐々に客に周知されてくるので、やや良くなる。
		百貨店（副店長）	・来客数増加効果もあり、売上は全体的には好調である。ただし、商品ごとに好不調の波があり、安定した改善までには至らない。
		コンビニ（経営者）	・引き続き、東京オリンピックに向けた好景気等も考えられる。また、米朝会談等、先行きに明るい兆しがあることも、やや上向きになるとみている要因である。コンビニの場合は天候に左右される部分が多いので、そういったところに注意も必要だが、やや上向きになるとみている。
		コンビニ（経営者）	・近くに同系列店がオープンしたため、売上減となっていたが、4か月がたち、客が戻ってきたようである。夏に向けて、もう少し商品の手入れをして、売上を伸ばしていきたい。
		コンビニ（店長）	・桜の開花、花見が3月下旬でほぼ終了してしまったためか、ぱっとしない今月である。夏に期待している。
		衣料品専門店（統括）	・景気は大変悪くなったまま、なかなか変化が出てこない。商店街に出てくる方や客が少なくなったままである。このゴールデンウィークも、観光地には出掛けるだろうが、商店街にはなかなか客が来ない。当店は祭礼用品を扱っているが、大分暖かくなってきたこともあり、徐々に祭りの消費に向けて、客が動き出している。
		住関連専門店（仕入担当）	・前年のゴールデンウィークは天候不順により低調だったため、今シーズンは前年以上の伸長を見込んでいる。
		旅行代理店（所長）	・デスティネーションキャンペーンによる成果が結実してくる。
		通信会社（経営者）	・全体的に新規契約の伸びは鈍いが、高額商材は伸びている。
		通信会社（局長）	・ガソリン価格も前年の第4四半期に比べて下がり、また新年度がスタートしたばかりなので、今期の第1四半期はやや良くなる。
		テーマパーク（職員）	・前年に比べてゴールデンウィークの日並びが良いことや、例年に比べて早い時期から温暖な日が始まっていることから、安定した来客数が見込まれる。
		ゴルフ場（総務担当）	・平日料金の引下げ、インターネット予約が約2倍と、今後増加が見込まれる。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の影響が出始める時期と予想する。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・5月は皆が出かけて、催物や娯楽施設は良くなるのではないかと。その反面、その他の業種は余り動きがない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・地方には、いまだ景気回復の影響が回ってきていない。逆に悪くなっている可能性もある。
		百貨店（営業担当）	・化粧品や食品等の消耗品は比較的堅調に推移しているが、衣料品は依然として不調である。継続している消費の低迷を改善させるような好材料は見受けられない。
		百貨店（営業担当）	・売上シェアの高い衣料品が全く振るわず、また、食料品にも陰りが見えてきている。生活防衛意識は一層高まっており、今後数か月も変わらない状況が続くとみている。
		スーパー（総務担当）	・今は端境期で売上が減ってくるが、前年と比べて非常に売上が好調である。来客数も伸びていることから、今後も変わらずに好調が続くような気配である。
		スーパー（商品部担当）	・イベントやポイント還元など、客の反応の良い取組は継続して売上増を目指す。物価、人件費等の上昇傾向は今後も続きそうである。売上、利益の取りにくい環境は変わらない。
	衣料品専門店（販売担当）	・底というか、悪い方で安定感がある。年金支給月はそれなりの動きは出るが、ほかはかなり悪い状況で推移する。ここしばらくその流れが続いているため、先行きもほとんど変わらない。	
	家電量販店（店長）	・ここ数年のeコマースによる購買と実店舗が、どちらが今後業態としての主導権を得られるかで、今の景気が維持できるか否かとみている。	
	乗用車販売店（経営者）	・地方では、ボーナス時期の消費拡大は、それほど見込めない。	

乗用車販売店（経営者）	・ 当地域の基幹産業である自動車産業の生産台数は、そろそろ頭打ちで限界という状況である。ただし、このところ行ってきた新たな設備投資が生き、需要の伸びとマッチすれば、まだ伸びる可能性がある。
乗用車販売店（販売担当）	・ 現状が余りにも良くないため、良くなる要素が見当たらない。今後2～3か月先は、当社の周辺を考えると、悪い状況で変わらないのではないかと。
自動車備品販売店（経営者）	・ 特に良くなるというような新しい材料、情報等は身の回りにはない。ムードも特に盛り上がっているとは聞かない。スーパーなどの売行きも今一つ伸び悩んでいるとのことなので、伸びていく手応えは感じない。悪くならないように、自助努力するしかない。
住関連専門店（店長）	・ 客単価、1品単価共に、前年とほぼ同じである。
その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・ 内容が少しずつ変わってきており、全体では厳しい状況である。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・ 競合店の影響が収束する見込みの秋までは、現状の傾向は変わらない。集客イベントやセール以外での客の来館動機を前年以上に付加する対策を予定している。
都市型ホテル（経営者）	・ 前年度売上分析により、変わらない。
都市型ホテル（スタッフ）	・ 依然として2～3か月先も前年と比べて件数はマイナスである。単価は上昇しているが、元値を上げたためであり、純粋に消費単価が上がっているとは考えにくい。
都市型ホテル（営業担当）	・ 今月はやや良くなっているが、通常稼働の悪い月である3月が、思ったほどではなかったため、1か月良くても、今後継続的に良くなる根拠となる需要はなく、変わらない。
都市型ホテル（副支配人）	・ 今月が良すぎるので多少の不安はあるが、団体やインターネットの予約状況からみて、5～6月ぐらいまでは例年並みかそれ以上で推移できそうである。
旅行代理店（経営者）	・ 客の所得が増加しているとは思えないので、旅行に対する支出はいまだ厳しい。
タクシー運転手	・ ドライバーの数は少ないが、仕事自体も少なくなっている。
通信会社（経営者）	・ 相変わらず、地方の景気は低迷を続けている。
通信会社（営業担当）	・ 社会情勢不安などもあり、消費は鈍くなる可能性がある。
競輪場（職員）	・ 全国発売の記念競輪レースの売上が、ほぼ同額で推移している。
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・ 同業者の集まりでも、変わらないという意見が多い。
設計事務所（所長）	・ 毎度のことだが、公共事業以外は仕事の情報がほとんどない。
設計事務所（所長）	・ 好調な企業もあるようだが、全体では代わり映えしない。
商店街（代表者）	・ 卒園式、卒業式、年間のアルバム制作などの記念写真撮影は、売上に大きく貢献していたが、入園入学児の減少に伴って、単価交渉に苦慮している。
一般小売店〔衣料〕（経営者）	・ 天候も良くなって、ゴールデンウィークも始まり、客も来るだろうが、なかなか当店のようない小売店まで足を延ばしてくれないので、余り良くならない。
コンビニ（経営者）	・ ゴールデンウィーク期間中、客は観光地に行ってしまうので、当店の来客数が減って、売上はやや減る。
コンビニ（経営者）	・ 景気が悪化するとみている。
家電量販店（営業担当）	・ 景気が良いとはいえない。この先大きなイベントもなく、消費は向上しない。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	・ 受注残が減少している。気温の上昇に伴って需要はますます減少傾向となる。
一般レストラン（経営者）	・ 周辺の観光スポットがシーズンを終え、人の動きが鈍くなると予想するが、例年の傾向である。
一般レストラン（経営者）	・ 毎年、ゴールデンウィーク明けは暇になる。梅雨、夏の暑さも影響する時期で、今月よりは落ちる見通しである。ただ、体感的な雰囲気は悪くない。企業のボーナスがどうなるか注目している。
その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・ 明るい材料もみられるものの、国内外の情勢に不透明感が強く、飲食の分野では、客の「気分」の面からの重しがあり、先行きにはやや悪材料とみている。
都市型ホテル（営業）	・ 今が順調で、夏場に向けては、いつも厳しい状況にある。宴会の売りのポイントを明確にし、客にアピールするようにしても、厳しい状況には変わりはない。
タクシー（経営者）	・ 全体的に動きが悪いので、この先も悪いとみている。

	通信会社（経営者）	・人口減、高齢化により、右肩下がりでは現状止めようもなく、先行投資して顧客を増やしてもそれ以上に減少していくのが地方の実態である。高齢者相手の便利屋的な仕事ばかり増えて利益は上がらない。それでも誰かがやらないかという思いでやっているが、限界も見えてきている。地方は働く場所も減り、若い人は条件の良い都市部に移住してしまい、姥捨て山と化している。それでも僅かに利益が見込めそうな仕事には、都市部から大手が来てそこだけもっていく。不条理である。
	通信会社（社員）	・年度末、年度初めによる一時的な来客数の増加とみている。競合は避けられない。
	通信会社（総務担当）	・話題となる新商品が少ないことや廉価商材が希薄になってきている。
	美容室（経営者）	・客と景気はどうかという話題になり、政治への不満、要望、景気の悪いなかでの国有地売却問題の8億円値引きはあり得ない、といったかなり突っ込んだ話が出ている。他人の耳を気にしない状況での発言は、景気が回復してほしいという願いではないか。地方はすっかり冷え切って、現状より更に悪くなりそうである。
	美容室（経営者）	・日用品、食料品、運送費等の値上げが相次ぎ、消費者の財布のひもはますます固くなるが、零細企業は値上げできるはずもない。国内外とも良くなる要素は見当たらない。
	x	* *
企業 動向 関連 (北関東)	金属製品製造業（経営者）	・今月の売上は3か月前の75%止まりである。ただし、7月からは元に戻る。
	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・当社の本業であるスプレー缶、ガス缶の処理装置、フロンガス回収機の受注予測が、夏から年内にかけては、一段と上向きになる。
	金属製品製造業（経営者）	・有望な新しい取引先が出来て、これからが楽しみである。
	一般機械器具製造業（経営者）	・産業機械分野の既存の協力工場だけでは、生産能力不足で対応できず仕事があふれている。多くの新規取引先から仕事の引き合いが来ている。将来、確実に伸びる分野の受注に取り組んでおり、近々に新規量産アイテムが立ち上がる予定である。既存取引先の仕事も堅調の見込みである。
	電気機械器具製造業（経営者）	・停滞していた医療器関係の仕事が、今期からは結構出るようである。全般的に受注がかなり増えてくる。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車メーカーの北米輸出が前年比で伸びており、やや良くなる。
	化学工業（経営者）	・落ち込んだ部門の回復を予想させる引き合いや情報はなく、このままの状況が続くとみている。
	電気機械器具製造業（経営者）	・新規取引先の生産動向や日程がまだ固まっていない。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・今のところはやや良いが、この先、急に売上が変動し、減少するのか増加するのか、まるで分からない。
	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
	建設業（総務担当）	・余り上向くという話もないため、横ばいで推移するとみている。
	輸送業（営業担当）	・今後の夏場は、エアコンや季節の園芸用品、バーベキュー用品等の物量が増える予定である。しかし、現状の原油高で、燃料価格が上昇しているため、利益は薄くなりそうである。
	通信業（経営者）	・変わる要素がない。
	不動産業（管理担当）	・受注価格の見直しにより、今年度から多少上乗せできたところもあるが、今後も人件費の上昇が見込まれるため、変わらない状況が続く。
	広告代理店（営業担当）	・取引先の販促計画に大きな変化はなく、前年並みの受注予定である。
	司法書士	・特別な注文や今後の予定が特にないので、変わらずに推移すると考えている。
社会保険労務士	・今年も中小企業の賃金はそれほど上がらないとみている。	
その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・特段変化はみられない。	
窯業・土石製品製造業（総務担当）	・原材料が値上がり傾向にあるものの、製品価格に反映できない状態である。	

		建設業（開発担当）	・現政権誕生後5年が経過しているが、公共工事は前期前年比91%と一番厳しい。これも政権の不祥事が影響していると感じる。一強政治がもたらした結果ではないが。当社も売上が前年比90%であり、会社経営も厳しく心配である。今後は経費節減を図り、赤字決算にならないよう努力したい。
	x	不動産業（経営者）	・経費の値上げが多く、デフレスパイラルのようである。
雇用 関連		人材派遣会社（支社長）	・派遣5年無期化の影響か、派遣のみならず請負、業務委託の話や、教育、研修サービス等、様々なサービス提供が始まっている。
(北関東)		人材派遣会社（経営者）	・ゴールデンウィークにかけて食品、衣料品等の販売、レジャー産業も含めて、多少上昇すると期待している。製造業は、連休で生産調整、減産での稼働が見込まれている。建設関連は一概には言えないが、ここで一息入れるだろう。物流関係は落ち着いたが、人手不足が表面化してきており、今後に期待したい。
		人材派遣会社（管理担当）	・今夏は例年以上に食品、特にコンビニ麺類製造の生産計画数が多い。
		職業安定所（職員）	・人材が集まりにくいと、賃金を上げるなど条件を変更する事業所も見受けられる。
		学校 [専門学校] （副校長）	・地域の優良企業は、例年以上に順調にスタートしている。これに次ぐ中小企業の動向が、どのようになるのかによって、今年度の求人動向がはっきりしてくる。前年同様、大卒生が2けたの複数内定を取るかどうかで、企業動向もはっきりしてくる。
		*	*
	x	-	-